

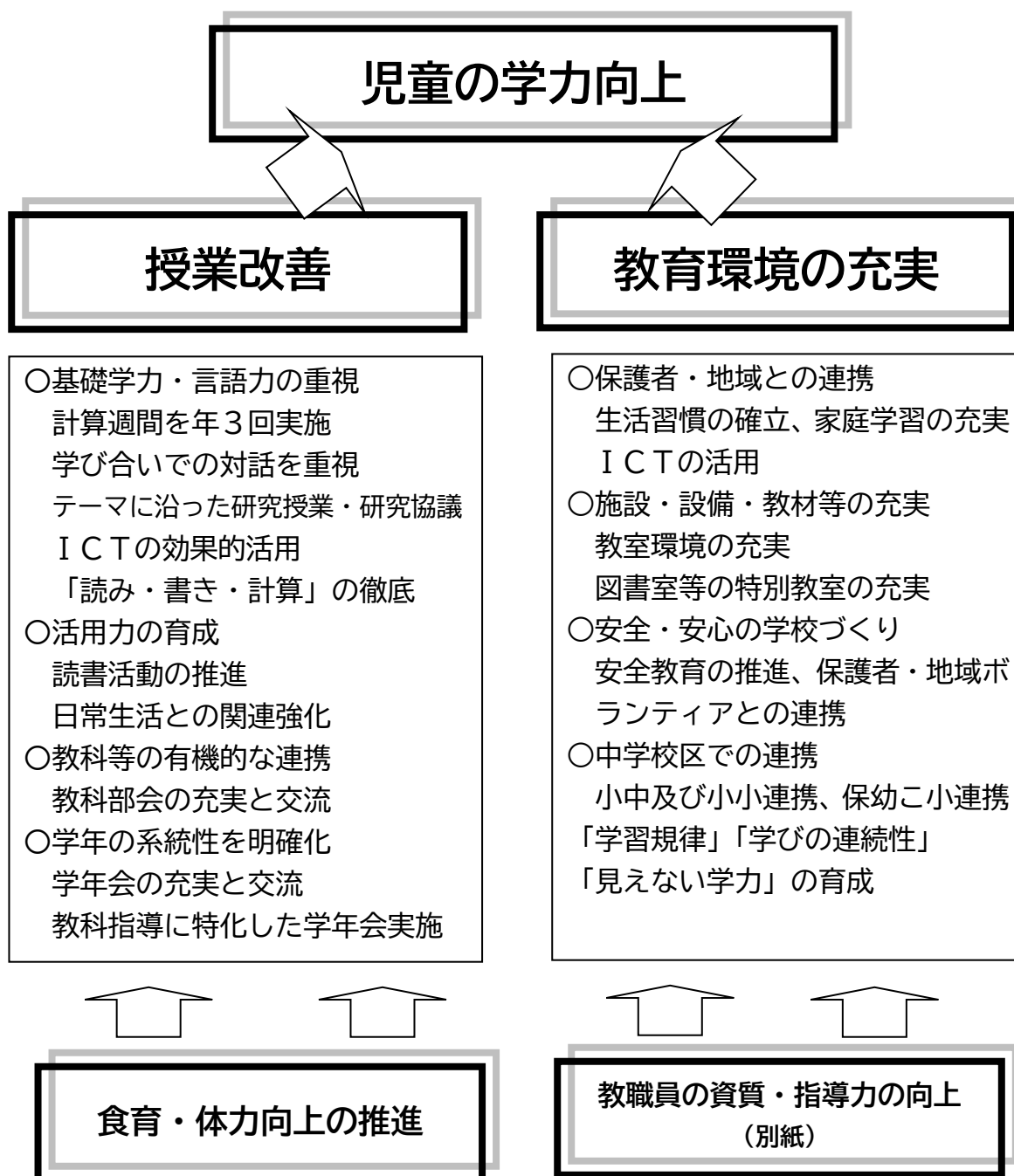
(6) 学力向上プラン

枚方市立津田小学校

「見えない学力」の向上に向けた取組推進

◆学習活動の基本となる「学級集団づくり」が「安心・安全」なものであれば、自ずと学力は向上するという考え方を前提に、児童にとって安心・安全な学習環境となるように、学級集団づくりに取り組む。

⇒ 「授業で生徒支援・指導」



学力向上プラン(教職員の資質・指導力の向上)

学習指導力の向上

- 教材研究
 - ・教材解釈(個人・学年・ブロック)
 - ・教材開発(個人・学年・ブロック)
- 授業研究
 - ・「逆向き設計」の学習指導案の作成
 - ・9年間の学びの連続性+就学前
- 公開授業
 - ・相互参観
 - ・参観・オープンスクール
- 研究会・研修会への参加
 - ・インプットとアウトプット

生徒指導力の向上

- 時間厳守
 - ・教師の率先垂範・チャイムスタート
- 学習規律の共有
 - ・児童が主体となる規律徹底へ
- 道徳教育・人権教育の実践
 - ・人生をより良く生きるための基盤
- 問題行動への対応
 - ・発達段階を踏まえた対応
 - ・児童や保護者に寄り添った対応
 - ・時には、毅然とした対応
 - ・組織的対応(一人で抱え込まない)
- 保護者への啓発
 - ・基本的な生活習慣の確立
 - ・学校と家庭のシームレスな学び

小中一貫教育

- ・学習規律の確立
- ・小中交流活動
- ・9年間の系統的な学び
- ・家庭や地域との連携

学校運営力の向上

- 企画力
 - ・日々の授業づくりと行事等を企画する力
- 調整力
 - ・校内や関係諸機関等と連携する力
- 推進力
 - ・率先して実行する力+伝える力
- 協調性
 - ・教育計画に沿って、全体で協働する力
- 積極性
 - ・新しいことにもチャレンジする力

学力向上プランにおける具体的な取組

子どもと子どもが つながる
子どもと教師が つながる

学級づくり・仲間づくり

- ①のびのびと過ごせる楽しい場。一人一人にとって安全・安心な場。
- ②規律と礼儀があり、子ども同士の好ましい人間関係が確立している場。
- ③子どもたちと教師との信頼関係が確立し、明るく温かい雰囲気の中で、子どもが安心して自分の力を発揮できる場。
- ④どの子にとっても、わかりやすい授業がなされている場。
- ⑤わからないことを安心して、「わからない。」「教えて。」と言える場
- ⑥学習につまずいたり、試行錯誤したりすることが「当たり前」のこととして、受け入れられる場。・・・自己肯定感の向上
- ⑦興味・関心のあることに、じっくりと取り組める「ゆとり」のある場。
- ⑧自分がかげがえのない一人の人間として大切にされ、頼りにされていることが実感できる場。・・・自己有用感の向上

教師と教師が つながる ⇒ 「めざす子ども像」の共有、協働

- ①合理的配慮のある教材研究（時間の確保） ②校内研修 ③情報共有・交流
- ④少人数指導 ⑤ICTの活用 ⑥「個別最適の学び」と「協働的な学び」の実践

教師と保護者・地域が つながる ⇒ 連携・協力

- ①地域に開かれた学校（学校だより、学校ブログ、学年だより、学級通信）
- ②家庭学習の支援『学校と家庭のシームレスな学びの実現』『家庭学習の手引き』
- ③児童の健康の保持・増進に向けた取組
- ④保護者や地域の力を借りる ⇒ 津田レンジャー

※「つながり」を大切に、信頼関係を築き、推進する

令和6年度 校内研究テーマ

「仲間とつながる授業づくり」～きょうどう学習を通して～

- 教科をしばらない教師の「もちあじ」 2年目
- ◎子どもの「もちあじ」を活かす＝聴き合う関係づくり
- 子ども同士の学び合い＝きょうどう学習
- 「めあて」と「まとめ」、子どもの「ふりかえり」を意識した授業づくり
- 子どもに何を学ばせたいのか？ ⇒ ゴールから考える「逆向き設定」
- 日々の授業を大切に！ ⇒年間通して相互参観を設定、教師同士の学び合い